

自ら考え、自ら学ぶ子 やさしく思いやりのある子 たくましい子 ～～湊でよかった～



湊小学校だより

令和8年 1月
白山市立湊小学校

湊小学校 後期学校評価アンケート結果

2学期末の学校アンケートへの回答をありがとうございました。アンケート結果を報告させていただきます。

このアンケートの結果を3学期以降の教育活動に生かしていきたいと考えております。保護者の皆様におかれましては、引き続き学校教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

【4段階評価】
A：あてはまる
B：どちらかというかとあてはまる
C：どちらかというかとあてはまらない
D：あてはまらない

【教育目標】 自ら学び、心ゆたかで、たくましい児童の育成
【めざす学校】 ～湊でよかった！と思える学校に～
①子どもがみんなで学び合い、一人一人の資質・能力を伸ばせる学校
②温かく規律があり、活力ある風土の中で、切磋琢磨できる学校
③児童、保護者、地域の方々から愛され、信頼され、応援される学校
【めざす児童像】 自ら考え、自ら学ぶ子 やさしく思いやりのある子 たくましい子

		対象	質 問	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	前期比で、肯定的割合(A+B)が増加したもの ↓ 低下したもの	分析と対応策
安心・安全	1	児童	学校は楽しい	<div><div></div></div>		・約99%の児童が肯定的評価をしています。 ・縦割り班での掃除や行事でいろいろな学年の児童同士が関わることができたり、いろいろな場面で児童同士が進んで関わり、笑顔で関わる機会が増えてきています。 ・学習が難しくなってきたと感じる児童、友達とうまく関われないことが理由で楽しく、安心してすごすことができないと感じている児童が数名います。実態を把握、懇談等により児童理解を深め、改善策を見出し、少しでも安心感が増すように取り組んでいきます。また、協働的な学習など授業の充実を図ることにより安心して過ごせる学級づくりをします。 ・定期的なアンケート、個人面談を実施し、いじめの早期発見、対応ができました。引き続き指導方針の共通理解のもとでトラブルに対応します。 ・「友達に対しての言葉遣い、ふるまい方」などのトラブルには、発達段階に応じて指導、声掛け、援助が必要です。互いの思いを伝え合い、解決できるように、教師が仲立ちしたり話し合う場を設けたりするなどの支援をして自ら考え、行動できる児童の育成を図っていきます。
		保護者	お子さんは、学校が楽しいと思っている。	<div><div></div></div>		
	2	児童	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	<div><div></div></div>		
		保護者	お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	<div><div></div></div>		
自ら考え自ら学ぶ子	3	児童	授業は分かりやすい。	<div><div></div></div>		・児童と教員が単元や授業の「ゴールの姿」や「つきたい力」を確認して学習に取り組んできたことが成果となっています。 ・2学期からは、「わかった・できた・たどり着けた」を実感できるように、ふり返りや適用問題の時間確保にも留意したことも良い結果につながっていると考えます。 ・今後も確実に「ゴールの姿」を児童と共有する、終末でのふり返りや適用問題を充実する授業構成を行い、「わかった・できた・たどり着けた」を実感できるようにしていきます。 ・根拠や理由を引き出すために、意図的に根拠や理由を”選ぶ・書く・話す”場面を設定してきました。発達段階に応じて型を示すなどの手だてを工夫しました。 ・書く活動では、「考えが残るノート」づくりを算数科を中心に行いました。途中計算が残る、間違いも残るという学びのあしあとが残るノートをめざしました。児童玄関にノートを掲示することで、児童のノートづくりの意識を高めることにつながりました。 ・自分で書いた「考えが残るノート」は、友達に伝わらないことも多少あったので、「自分の考えが伝わるノート」へと相手意識を大切にしたい学び合いへとレベルアップをめざします。
		保護者	お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	<div><div></div></div>		
	4	児童	自分の考えを伝える時に根拠や理由を示し、わかりやすく表現している。	<div><div></div></div>		
		保護者	お子さんは、自分の思いや考えをノートにしっかり書いている。	<div><div></div></div>		
やさしく思いやりのある子	5	児童	笑顔で、元気に、目を見て、自分からあいさつをしている。	<div><div></div></div>		<あいさつ> ・高学年を中心に、廊下ですれ違った際に挨拶をする児童が増えてきました。また、外部の来校された方への挨拶も増えています。 ・家庭でも挨拶を心がけ、見守り隊の方へ元気に挨拶をする習慣につながっていくよう、ご協力を引き続きお願いします。 <思いやり> ・「いいところ見つけ」「やさしさバトン」の取り組みで、思いやりの行動を紹介することで、優しさをつなげようとする意識が全校に広がってきました。 ・自分中心の言動で、友達の気持ちを考えないことから起こるトラブルは減ってはいますが、なくなったとは言えません。具体的な事例を示しながら、相手意識をもった言動をとることができるように支援していきます。 ・自己評価が低い児童には、「思いやり」のある行動を積極的に認め、価値づけること、無自覚にとっているような良い行動についても積極的に認め、自信をもって行動できるように励ましていきます。 <縦割り活動、異学年交流> ・2学期の運動会、海岸清掃、遠足、読み聞かせ、いも掘り、ウインターフェスタと多くのたてわりり活動を実施し、班の友達と仲よく協力して異学年交流が楽しかったと感じています。保護者の評価も高かったことから、家庭で児童が楽しい出来事を話したり、保護者の方が支援していただいたりしたことが何え、活動が充実していたことが分かります。 ・今後さらなる効果的な活動をめざし、たてわり活動のめあてを確認し、振り返りの活動を行っていき、協力できた具体的な姿を共有して取り組みたいと思います。
		保護者	お子さんは、きちんと挨拶している。	<div><div></div></div>		
	6	児童	友だちに思いやりのある温かい言葉や、良いところを見つけて、伝えている。	<div><div></div></div>		
		保護者	お子さんは、友だちに対して思いやりの心で行動している。	<div><div></div></div>		
	7	児童	縦割り班の友だちとなかよく協力している。	<div><div></div></div>		
		保護者	お子さんは、学校行事や縦割り活動でほかの学年やいろいろな友だちと関わり合ったり協力したりしている。	<div><div></div></div>		

裏面もご覧ください

